

校長室だより

春日 (しゅんじつ)

校長 清武 直人

後悔

売れている本のタイトルの付け方はさすがです。いや失礼。内容がいいから売れているのでしょうか、こんなタイトルなんです。

その1

「**気絶するほどほめる子育て**」

その2

「**頭がいい親の上手な叱り方**」

その3

「**夫婦は話し方しだいで9割うまくいく**」

どうです？手に取ってみたいくなりませんか。

実は、私も20年ほど前に自費出版したことがあるんです。社会科の授業の本なんです。タイトルは

「**トイレと糞尿で授業を創る**」

出版したときは、我ながらなんと素敵なタイトルだろうと思ったのですが、世間は違っていました。売れない！

で、周りの先生たちに無理矢理買ってもらいました。この学校にもこの本の犠牲者が何人かいます。ごめんなさい。

「**気絶するほどおもしろい社会科の授業**」「**頭がいい先生の上手な授業**」「**授業は話し方しだいで9割うまくいく**」

こんなタイトルにしていれば、売れたかなあ。

授業

4年生の学級活動の授業です。子どもたちの朝食を調べると、黄色（パン・御飯）は多いのですが、緑（野菜）が少ないのです。なぜだろうということになりました。

男の子が発表しました。

「黄色は朝出しやすいけど、緑は、料理とくしなないといけないから、働いているお母さんは大変だからあまり出さないんじゃないかな。それに比べて、黄色はすぐに食べれるからだと思います。」

朝食で野菜の摂取が少ないのは女性の社会進出によるという鋭い指摘。女性の社会進出を支えるために家族はいかにあるべきか。

深い授業でした。



所見

私は、毎朝父と一緒に路面電車（通称チンチン電車）に乗って幼稚園に通ってました。当時、父も母も仕事をしていましたから、幼稚園の帰りは、一人で路面電車に乗って帰ってました。「4」という番号がついた電車でした。今でも覚えてます。

ある日、幼稚園の先生が「電車やバスに乗ったときには、周りの人に席を譲りましょう」というお話をしてくださいました。

その日の帰り、電車に乗って座席に座っていると、女子高校生（今思い返すと）が二人私の前に立ちました。私はここぞとばかり席を立ち、「どうぞ！」と声をかけました。

二人の女子高生は、くすくす笑いながら座ってはくれませんでした。何となく気まずい思いをしながら自分が座っていた座席をじっと眺めていた記憶があります。

<所見>

直人君は、先生のお話をよく聞くことができます。そして、よいと思ったことはすぐに実行に移すことができます。ただし、やや状況判断が甘いところがあるので気をつけましょう。

まもなく前期が終了します。先生たちは今、一人一人の子どもの顔を思い浮かべながら一所懸命にはげみの所見を書いています。

さて、お子さんの所見はいかに・・・

